

## 第2回青森県立保健大学学術研究集会抄録

テーマ 「青森県の健康寿命アップをめざして」

会 長：新道 幸恵 学長  
副 会 長：田崎 博一 副学長  
実行委員長：嵯峨井 勝 研究センター長  
実 行 委 員：中村由美子 教授  
藤田 修三 教授  
佐藤 秀一 助教授  
佐藤 伸 助教授  
鈴木 保巳 講師  
山田 典子 講師  
井澤 弘美 研究センター兼任研究員  
工藤乃理子 研究センター兼任研究員  
村松 仁 研究センター兼任研究員  
開 催 日：平成16年9月17日（金）  
会 場：青森県立保健大学

### 第2回青森県立保健大学学術研究集会プログラム

10：00

開会

10：00～10：05

学術研究集会大会長挨拶

県立保健大学 学長 新道幸恵

10：05～12：00

シンポジウム ー講堂ー

「青森県の健康寿命アップと保健大学の取り組み」

座長 嵯峨井 勝

シンポジスト

佐藤 秀紀

健康と寿命にかかわるライフスタイルの要因研究

ー短命地域（青森県）と長寿地域（長野県）との比較ー

竹森 幸一

シナリオ学習（PBL方式）を応用した新しい健康教育モデル（TYA方式2002）の開発

藤田 修三

上北町での高脂血症改善介入調査結果について

嵯峨井 勝

青森県民の健康寿命アップ対策としての「心疾患10年リスク」の活用について

山下 弘二

地域の中高齢者に対する運動型健康づくりプログラムの開発と介入効果

指定討論者

成田 由美子氏（上北町保健課）

熊谷 崇子 氏（青森県健康福祉部保健衛生課）

12：00～12：45

昼食

12：45～13：30

ポスター発表ーA棟1階ホールー

※ ポスター掲示時間は10：00～16：40

13：30～15：00

口述発表ⅠーA101会場ー

口述発表ⅢーA111会場ー

15：10～16：40

口述発表ⅡーA101会場ー

口述発表ⅣーA111会場ー

16：40

閉会

### 演題プログラム

13：30～15：00

口述発表Ⅰ

座長 理学療法学科 福田 道隆

理学療法学科 岩月 宏泰

1. 痴呆の高齢糖尿病患者と家族支援にオリジナルKOMIチャートを活用した効果

県立中央病院 白坂 町子

2. 地域指向型デイ・ケアの展開

県立精神保健福祉センター 浜田 和法

3. 痴呆性老人のADL評価表の開発

健康科学研究科理学療法学分野 佐藤真里子

4. 意識障害・運動障害のある患者の排泄ケアに焦点をあてた転倒・転落防止の実践評価

県立中央病院 小笠原 保子

5. 養護老人ホーム入所者の歩行機能評価

～1年の比較検討～

理学療法学科 鈴木 務

6. 鍼治療施行患者の骨密度とSF36

理学療法学科 福田 道隆

15：10～16：40

口述発表Ⅱ

座長 健康科学研究科 藤田 修三

看護学科 山本 春江

7. 青森ヘルスプロモーションの市内波及（１）  
～“健康をつくるまちづくり”の市内波及の実  
際とその課題～

青森市健康福祉部健康づくり推進課 浦田 浩美

8. 青森ヘルスプロモーションの市内波及（２）  
～“健康をつくるまちづくり”の波及を図る新  
たなコミュニティへの保健師の介入～

青森市健康福祉部健康づくり推進課 小形 麻理

9. 碓ヶ関村における痴呆予防「頭の体操教室」  
～協同による痴呆予防教室の効果～

碓ヶ関村在宅介護支援センター 野呂真喜子

10. T Y A方式による減塩教育モデルの評価と今後  
の課題

第１報 教育方法的見地からの検討

社会福祉学科 浅田 豊

11. T Y A方式による減塩教育モデルの評価と今後  
の課題

第２報 教育効果の追跡

看護学科 山本 春江

12. 健康教室への血液レオロジー測定装置MC-F  
ANの導入とその成果

健康科学研究科生活健康科学分野 井澤 弘美

13：30～15：00

口述発表Ⅲ

座長 看護学科 石鍋 圭子

社会福祉学科 佐藤 恵子

13. 食卓環境から見た小児の食生活

県立中央病院 野口麻希子

14. 木造町の養育期にある家族の家族機能

木造町保健福祉課 下山 裕子

15. E P D S等調査票を活用した低出生体重児の母  
親へのこころの支援に関する検討

東地方健康福祉こどもセンター 福嶋 眞樹

16. 女性相談所における相談指導員の支援の特質と  
課題

女性相談所 松坂 育子

17. 看護管理者教育ファーストレベル教育の評価

～修了者の動向から～

看護学科 早川ひと美

18. テキストマイニングを利用した授業効果判定の  
試み

社会福祉学科 杉山 克己

15：10～16：40

口述発表Ⅳ

座長 健康科学研究科 松江 一

健康科学研究科 佐藤 伸

19. 全国および青森県（1999～2003年）における感  
染症発生状況

～定点把握疾患を中心として～

環境保健センター 武沼 浩子

20. 県内で発生したサルモネラ食中毒の分子疫学的  
解析

環境保健センター 和栗 敦

21. 集団及び散发事例より検出されたノロウイルス  
の分子疫学的検討

環境保健センター 石川 和子

22. ホタテガイの下痢性貝毒による健康被害の防止  
について

環境保健センター 神 毅統

23. シックハウス対策におけるホタテ貝殻の効果

環境保健センター 山本 明美

24. ダイオキシン類分析について

環境保健センター 野澤 直史

12：45～13：30

ポスター発表

- P-1. 地域活動センター創設期におけるPCMを用い  
た課題分析

～脳血管疾患後遺症の中途障害者に対する保健  
師の地区組織活動～

看護学科 山田 典子

- P-2. テレビ会議システムを使用した介助指導の有用  
性

理学療法学科 藤田 智香子

- P-3. 理学療法過疎地での訪問理学療法の経験

理学療法学科 川口 徹

- P-4. 在宅身体障害者の支援費制度によるサービス利  
用の現状と障害予防

～大都市と青森市の2地域の比較を通して～

理学療法学科 前野竜太郎

- P-5. 在宅重度知的障害者のADL・問題行動と介護  
者の介護負担・ストレス反応・陽性感情との関係  
および社会的ニーズの把握

理学療法学科 盛田 寛明

- P-6. 上肢巧緻運動機能評価システムの開発と臨床応  
用

理学療法学科 福田 道隆

- P-7. 統合失調症発症による家族の適応過程の質的研  
究

健康科学研究科地域保健福祉学分野 川添 郁夫

- P-8. 青森県下における認定看護師のニーズ調査報告

看護学科 平尾 明美